

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 平2-1653

⑬ Int. Cl.⁵
B 65 D 47/06識別記号 庁内整理番号
H 8208-3E

⑭ 公開 平成2年(1990)1月8日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑮ 考案の名称 注出ノズル

⑯ 実 願 昭63-78546

⑰ 出 願 昭63(1988)6月14日

⑱ 考 案 者 朝 日 功 東京都江東区大島3丁目2番6号 株式会社吉野工業所内

⑲ 出 願 人 株式会社吉野工業所 東京都江東区大島3丁目2番6号

⑳ 代 理 人 弁理士 佐藤 宗徳 外1名

㉑ 実用新案登録請求の範囲

可撓性スクイズ容器1の口部2に取り付けられ、この可撓性スクイズ容器1内に連通する注出孔3を先端に有する注出ノズルであつて、

前記注出孔部3から容器内方向に連通管4を設け、この連通管4の内径を注出孔3の径の2倍以下に設定したことを特徴とする注出ノズル。

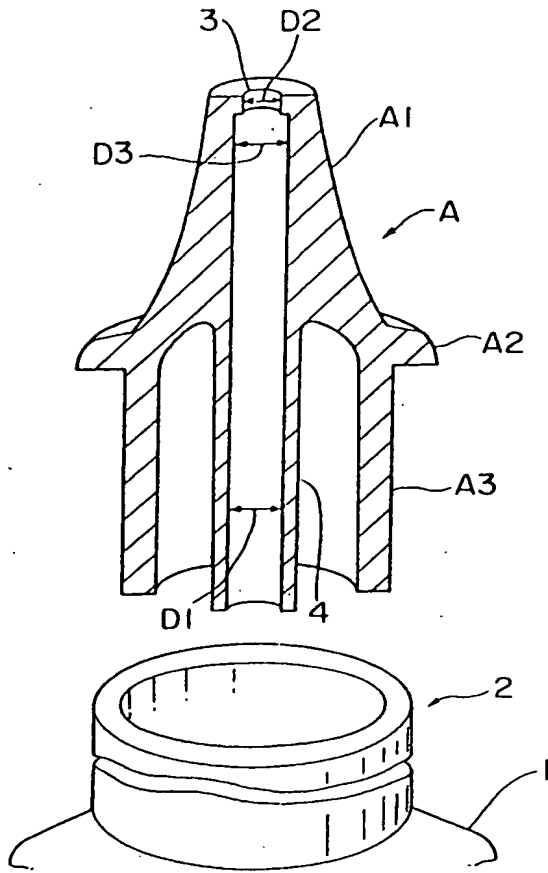
図面の簡単な説明

第1図ないし第3図は本考案の実施例を示し、

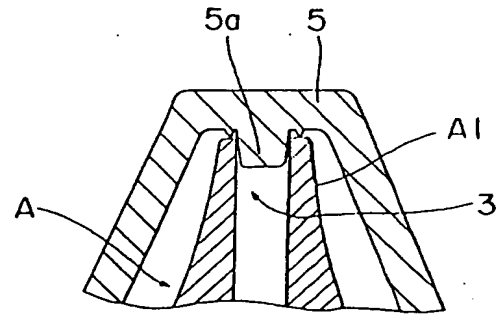
第1図は基本的な実施例の一部切欠した斜視図、第2図はその断面図、第3図はその他の実施例を示す要部の断面図、第4図及び第5図は従来の注出ノズルを示す断面図である。

1……可撓性スクイズ容器、2……口部、3……注出孔、4……連通管。

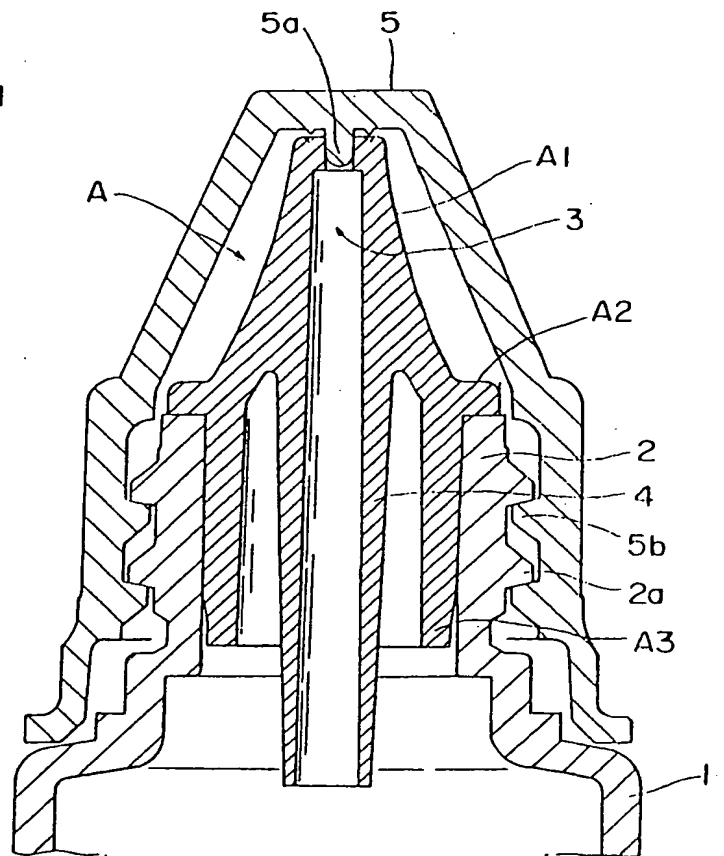
第 1 図



第 3 図

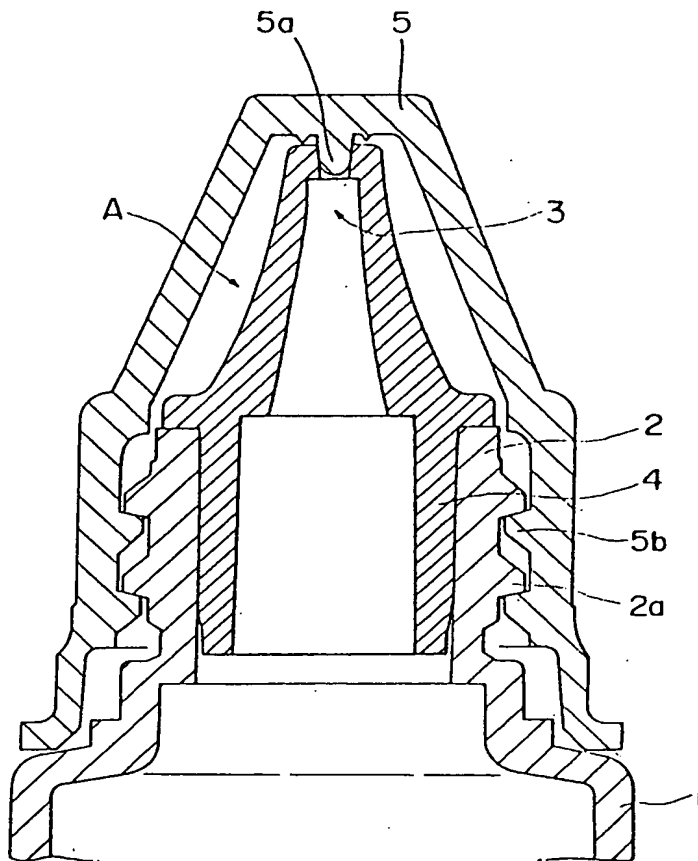


第 2 図

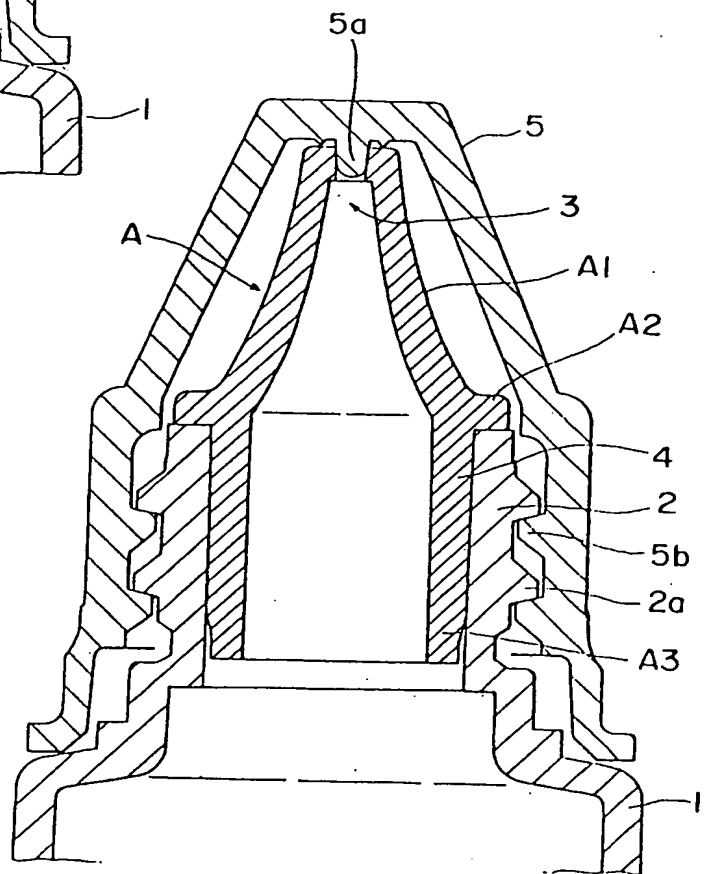


BEST AVAILABLE COPY

第4図



第5図



BEST AVAILABLE COPY